

平成 26 年度 津山市立河辺小学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月）

	学校の取組・改善方法 （課題に対する改善方法）	進捗状況 （学期末時点）	3 学期及び来年度へ向けて （具体的な達成目標や数値目標等）
	家庭学習のふり返しをする「うさかめカード」の提出率 100%をめざし、保護者への呼びかけを積極的に行い、家庭学習の習慣や定着を図る。	B	<p>学年通信等を通じて呼びかけたり、毎日確認したりすることで提出率 100%をめざす。</p> <p>自分から進んで家庭学習をしている児童は、児童アンケート調査より 84%であり、昨年度よりアップしている。</p>
	基礎基本の定着を図るため、算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムの年間継続的实施をする。	A	<p>朝学習で、算数すいすいタイム、国語わくわくタイム、漢字タイムを継続して行っている。前学年までの学習内容を確認することでつまづきを発見し、基礎基本の定着に努めてきた。</p> <p>学習到達度確認テスト、漢字テストの定着の割合。(80%以上)</p>
	グループ学習やペア学習を取り入れた学び合いを大切に授業に取り組む。	C	<p>ペア学習、グループ学習などの学び合いを取り入れ子ども同士がつながる授業を模索してきた。(3 学期も実施)</p>
	自分からあいさつをする、名前を呼ばれたら返事をする、場面や相手に応じた話し方ができるように指導していく。	C	<p>指導の重点のひとつにあげている。重点的に取り組んだときは意識が高まっているが継続しにくい現状がある。年間を通して指導したり、児童会や学年であいさつ運動に取り組んだりして継続していく。</p>
	低・中学年での親子読書、読書ボランティアによる読み聞かせ、図書館教育の充実により、本好きな子を増やし、読書量が増えるようにする。	B	<p>親子読書の取り組みは、1～4年生で読書カードに毎日つけるようにしている。意欲的に読んでいる児童も多く、図書館利用も活発にできている。しかし、ほとんど家で読書をしない児童が 2 割程度おり、読書に興味に向くような工夫を今後もしていく必要がある。</p> <p>読書ボランティアによる読み聞かせの質的向上。</p>

進捗状況・・・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」、「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」、「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」、「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」、「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」、「E：目標を達成できなかった（30%未満）」